

101-158

問題文

利尿薬の作用機序に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. インダパミドは、 $\text{Na}^+ - \text{K}^+ - 2\text{Cl}^-$ 共輸送体を選択的に阻害する。
2. ブメタニドは、 $\text{Na}^+ - \text{Cl}^-$ 共輸送体を選択的に阻害する。
3. トラセミドは、 $\text{Na}^+ - \text{K}^+ - 2\text{Cl}^-$ 共輸送体を阻害するとともに、心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)受容体を遮断する。
4. カンレノ酸は、集合管上皮細胞の Na^+ チャネルの発現を抑制する。
5. トリアムテレンは、集合管上皮細胞の Na^+ チャネルを遮断する。

解答

4, 5

解説

選択肢 1 ですが

インダパミド（ナトリックス）は、チアジド系類似の降圧利尿薬です。チアジド系利尿薬と同様に遠位尿細管で「 $\text{Na}^+ \text{Cl}^-$ 」共輸送体を阻害します。その結果、 Na^+ 再吸収阻害により利尿作用を示します。「 $\text{Na}^+ - \text{K}^+ - 2\text{Cl}^-$ 」共輸送体を選択的に阻害するわけでは、ありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

ブメタニド（ルネトロン）は、ループ利尿薬の一種です。「 $\text{Na}^+ - \text{K}^+ - 2\text{Cl}^-$ 」共輸送体を阻害します。「 $\text{Na}^+ / \text{Cl}^-$ 」共輸送体を選択的に阻害するわけでは、ありません。

選択肢 3 ですが

トラセミド（ルブラック）は、K 保持性のループ利尿薬です。ANP 受容体遮断作用はありません。ちなみに ANP とは、心房性ナトリウム利尿ペプチド のことです。ANP は、利尿作用を有します。利尿薬であれば、ANP 受容体を遮断ではなく、活性化したりアゴニストとして作用すると考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4,5 は、正しい選択肢です。

以上より、正解は 4,5 です。